

特定の一月における入院患者に関する調査結果

資料2

1. 調査目的

高度急性期・急性期病床から回復期病床への転換の議論を行う上で、納得しうる客観的な議論を行うための資料を得るため、入院患者の診療報酬出来高点数の実態について調査を行ったもの。
(平成28年度の各地域での地域医療構想調整会議で実施について提案、了承)

2. 調査対象

病床機能報告の対象となっている県内の病院（78か所）
(回収率100%)

3. 調査時期

平成29年2月診療分の入院患者数等について、平成29年5月に調査を実施

4. 調査項目(2ページ)

- (1) 病床数（稼働、休止別）
- (2) 診療報酬出来高点数別の入院患者数

【調査に当たっての留意事項】

(以下、H28地域医療構想調整会議資料4-1 抜粋)

地域医療構想の実現に向けた今後の取組

病床の機能分化及び必要病床数の収れんに向けた議論を深めるため、次回の地域医療構想調整会議の前に以下の調査を実施する予定である。

1 病床機能報告において高度急性期又は急性期と報告のあった病棟について

【調査項目:特定の一月における診療報酬の出来高点数で1日当たり3,000点以上又は600点以上の入院患者数】

地域医療構想において、高度急性期・急性期機能の目安としている入院点数3,000点以上・600点以上

(以下①～③を除く)の入院患者数について把握する。

①入院基本料 ②薬剤費 ③退院日に係るもの

(調査目的)H27病床機能報告においては、回復期機能が大幅に不足し、高度急性期・急性期機能が過剰となっている状況を踏まえ、今後、調整会議において医療機能の見直しに関する協議を進めていく上で、各医療機関が相互に納得できる客観性を持った資料により、議論が進められる必要があるため。

調査の詳細設計の段階で②、③は除かないこととし、H29.3医療審議会で報告、了承

※リハビリテーション料の取扱いについては、地域医療構想策定ガイドラインにあるとおりに厳密に場合分けをした場合、調査内容が煩雑になり、医療機関の理解が得られにくい、今回の調査ではリハビリテーション料を含めた点数で調査を行った。

特定の一月における入院患者等に関する調査票

病 院 名	
担 当 部 署	
担 当 者	
電 話 番 号	
メー ル ア ド レ ス	

設問1. 病床数について(H29. 2. 28時点)

	病床数(単位:床)			
	許可病床数	内 稼働病床数	内 休止病床数	内 その他 (未使用等)
1. 一般病床	0床			
2. 療養病床(医療保険適用)	0床			
3. 療養病床(介護保険適用)	0床			
合計	0床	0床	0床	0床

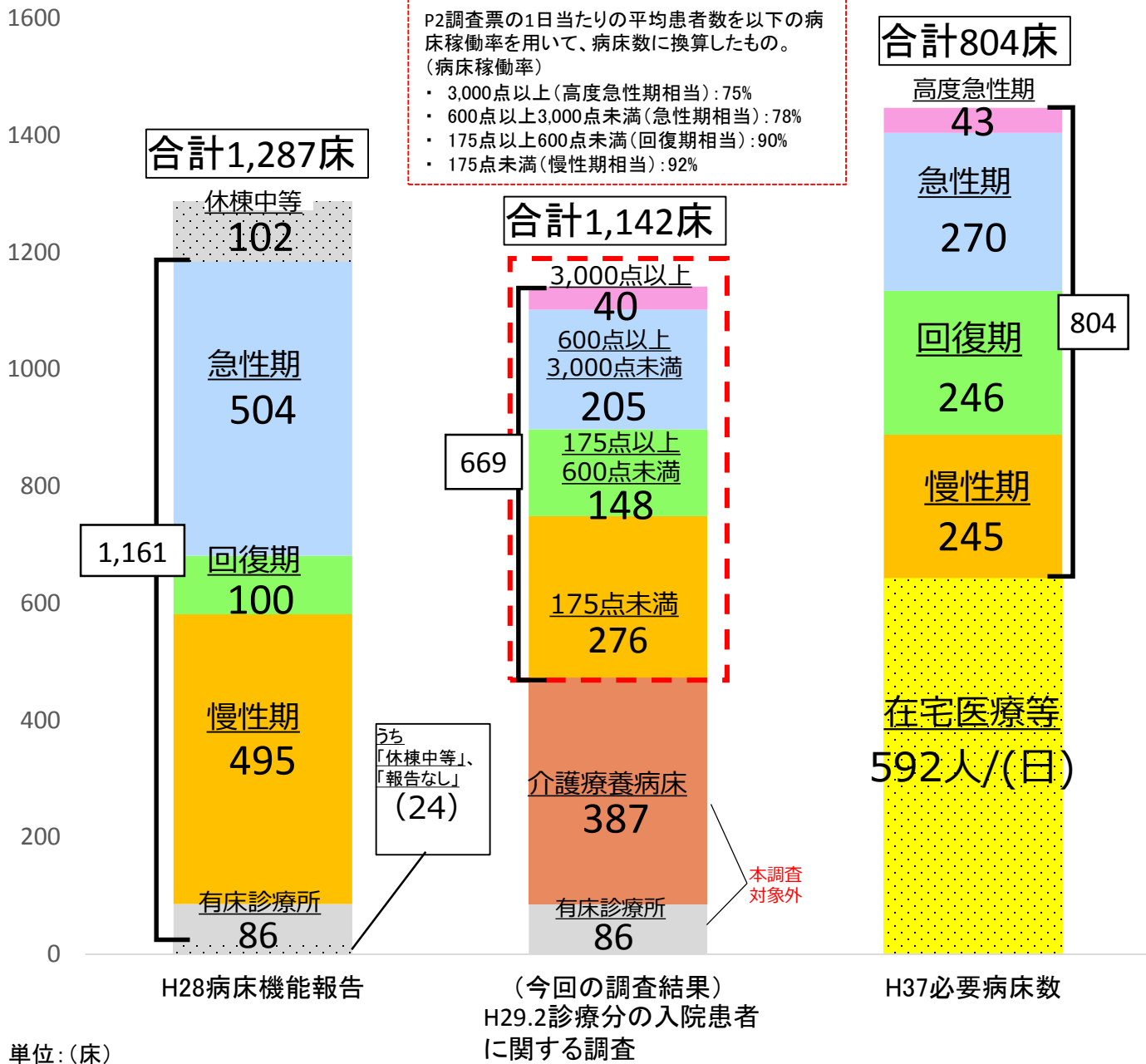
※ 稼働していない病床がある場合はその理由や今後の活用見込み等について具体的に記入してください。

設問2. 平成29年2月における1日ごとの診療報酬出来高点数で区分した入院患者数について

		(単位:人)				
		3,000点以上	600点以上3,000点未満	175点以上600点未満	175点未満	合計
2017.2.1	水					0人
2017.2.2	木					0人
2017.2.3	金					0人
2017.2.4	土					0人
2017.2.5	日					0人
2017.2.6	月					0人
2017.2.7	火					0人
2017.2.8	水					0人
2017.2.9	木					0人
2017.2.10	金					0人
2017.2.11	土					0人
2017.2.12	日					0人
2017.2.13	月					0人
2017.2.14	火					0人
2017.2.15	水					0人
2017.2.16	木					0人
2017.2.17	金					0人
2017.2.18	土					0人
2017.2.19	日					0人
2017.2.20	月					0人
2017.2.21	火					0人
2017.2.22	水					0人
2017.2.23	木					0人
2017.2.24	金					0人
2017.2.25	土					0人
2017.2.26	日					0人
2017.2.27	月					0人
2017.2.28	火					0人
合計		① 0人	0人	0人	0人	0人

3ページ
入院患者数から病床数への換算方法(3,000点以上の場合)
(合計入院患者数①/28日)÷病床稼働率75%

医療機能ごとの病床の状況(西北五地域)



(%)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
0	45.9	9.1	45.0

(%)

3,000点以上	600点以上 3,000点未満	175点以上 600点未満	175点未満
6.0	30.6	22.2	41.3

(%)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
5.3	33.6	30.6	30.5

【考察】

● 入院患者の状況を踏まえた医療機能ごとの病床数は、病床機能報告よりもH37の必要病床数に近い。

- ⇒ ①病床機能報告を入院患者の実態に近づけるための検討が必要である。
②稼働していない病床についての検討が必要である。